

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 毎年3月31日
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公 告 方 法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL (http://www.sunwa.co.jp/ir3/ir_info)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



第 64 期 中間株主通信

自平成23年4月1日 至平成23年9月30日



株主の皆様へ



平成23年12月
取締役社長 山本 勢

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜りありがとうございます。たく厚くお礼申し上げます。

ここに第64期中間株主通信をお届けするにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災以降停滞していた生産活動は回復に向かいつつありますが、円高の進行、欧州の金融不安や米国経済の停滞懸念等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、中国を中心としたアジア地域の需要が堅調に推移したことに加え、スマートフォンの需要増加、国内外の設備投資の持ち直しなどを背景に、産業機械業界の生産活動は活発に推移いたしました。世界的な景気低迷による消費の抑制などもありました。その影響を受け、半導体関連業界の成長も鈍化しております。

このような状況の中で、当社グループは新第7次中期経営計画（STEP1000）の2年目にあたり、第65期（平成24年度）連結売上高1,000億円の達成を目指し、引き続き「成長市場（クリーンエネルギー等環境事業の分野、ロボット等省力化の分野、介護・医療分野）への注力に

よる業容の拡大」、「業務効率化による収益力向上」等の重点施策に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

売上高 460億88百万円（前年同期比13.0%増）
 経常利益 17億91百万円（前年同期比40.3%増）
 四半期純利益 11億6百万円（前年同期比50.7%増）
 受注高 493億29百万円（前年同期比8.7%増）
 受注残高 181億51百万円（前年同期比14.8%増）

なお、株主の皆様への中間配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援に報いるべく、1株当たり10円の配当を実施いたしました。また、期末配当金も1株当たり10円とし、年間配当20円とさせて頂く予定でございます。

今後の見通しといたしましては、国内企業の海外への生産移管の流れが加速され、海外拠点の事業が拡大し、グローバル企業としての活動が更に活発になる事が予想されます。

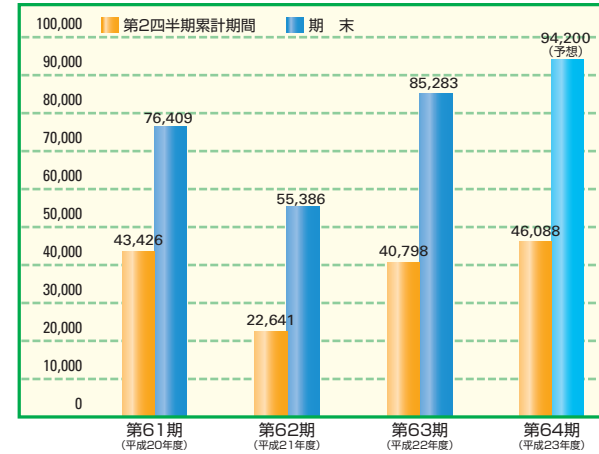
通期（平成23年度）の連結業績見通しにつきましては、受注動向等の最新の経営環境を踏まえた結果、業績予想を次の通りといたします。

売上高 942億円
 経常利益 33億円
 当期純利益 19億50百万円

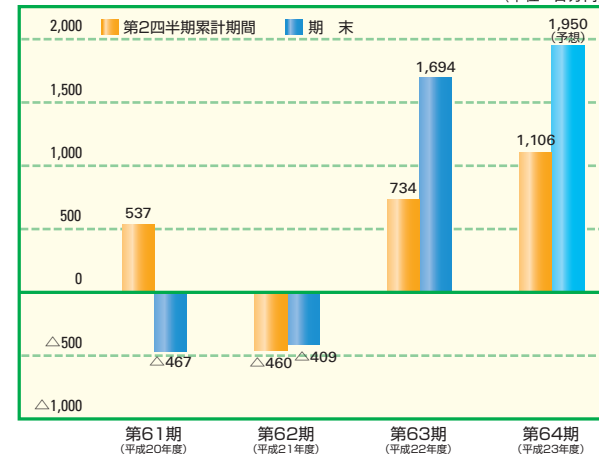
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移（連結）

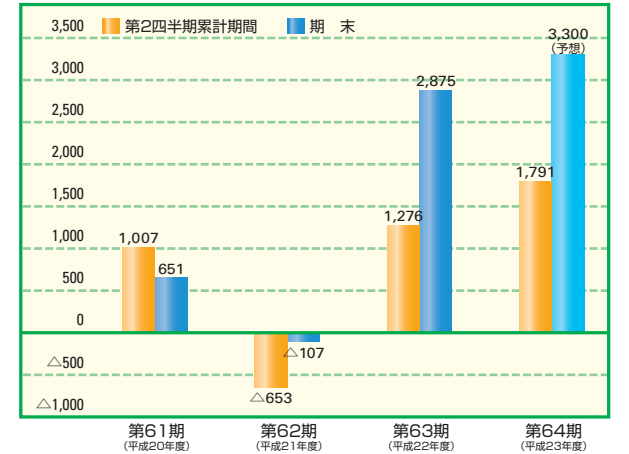
●売上高



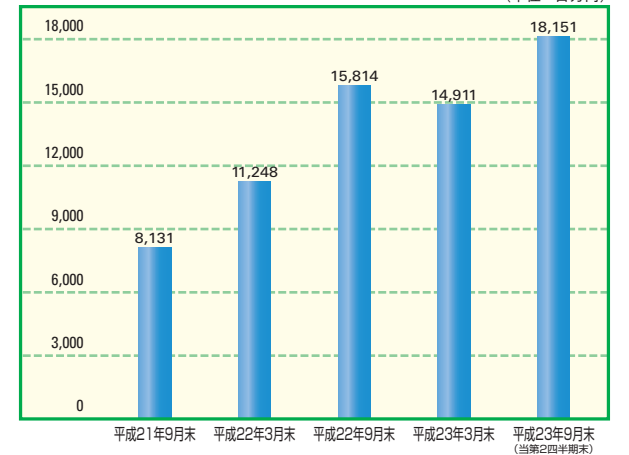
●当期純利益



●経常利益



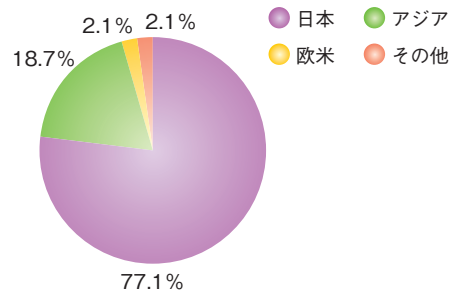
●受注残高



セグメント別の概況

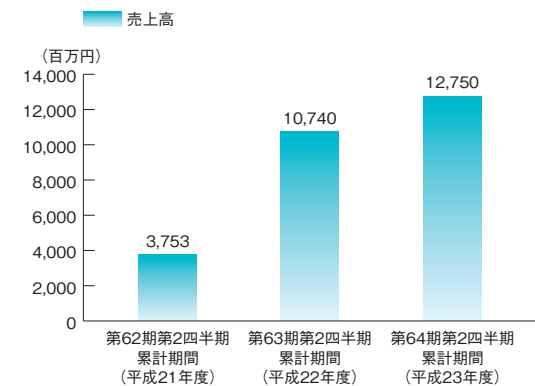
- ◆日本** 国内は、有機EL製造装置向けの真空ロボット及び設備部品等の販売が大幅に増加し、インバータ、ロボット、サーボモータ向けの電子部品等の販売も好調に推移いたしました。また、震災の復活需要や新規設備投資により生産設備等の販売も堅調に推移いたしました。この結果、売上高355億53百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益13億37百万円（前年同期比24.0%増）となりました。
- ◆アジア** 中国を中心としたアジア地域の景気は内需を中心に拡大しており、引き続き堅調に推移しております。このような事業環境の中で、アジア地域では、現地顧客の開拓を進めた結果、産業機械業界向けの電子部品、インバータ及びサーボモータ等の販売が好調に推移いたしました。この結果、売上高86億25百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益3億68百万円（前年同期比108.8%増）となりました。
- ◆欧米** 欧米景気は減速傾向で推移しており、欧州ではインバータ、サーボモータ向けの電子部品の販売が減少いたしました。一方で、有機EL製造装置向けの設備部品の販売が増加いたしました。この結果、売上高9億44百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益1億円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。
- ◆その他** 国内子会社の業績は一般設備投資に回復の動きが見られたことにより、外部顧客に対する売上高は9億64百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益33百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

売上高構成比率



部門別の概況

電機部門



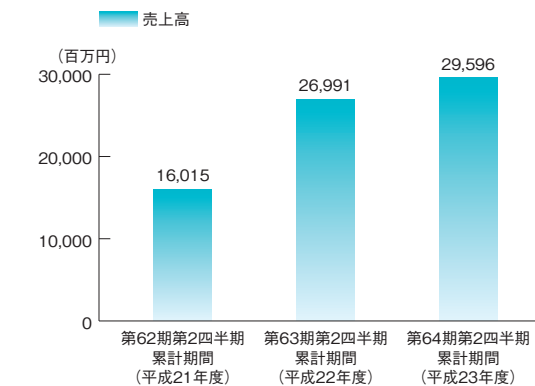
電機部門では、半導体業界の低迷により半導体製造関連装置向けのクリーンロボットの販売及び電子部品実装機向けのモータ等の販売が減少いたしました。また、スマートフォンの需要増加を背景に有機EL製造装置向けの真空ロボット等の販売が大幅に増加し、産業機械業界向けのサーボモータ等の販売も好調に推移いたしました。また、太陽光発電システム向けの制御機器などクリーンエネルギー関連の需要の兆しも見えてきております。この結果、当部門の売上高は127億50百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

主な営業品目：
ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等



ACサーボモータ

電子部門



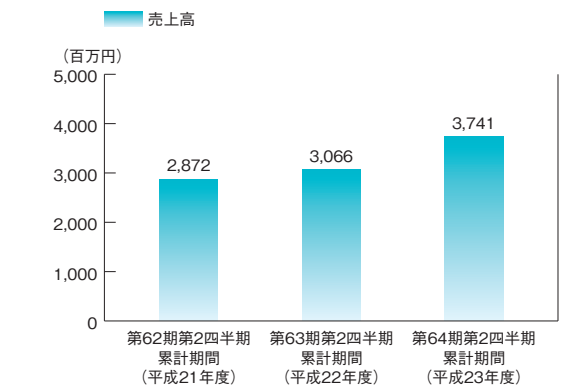
電子部門では、中国市場向けの産業機械の需要が好調に推移し、インバータ、ロボットコントローラ、サーボモータ向けの電子部品の販売が増加いたしました。また、外食産業向けの店舗設備用のパソコン、ディスプレイの販売も増加いたしました。この結果、当部門の売上高は295億96百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

主な営業品目：
電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等



LED照明モジュール

機械部門



機械部門では、産業用ロボットの販売及び有機EL製造向けの設備部品の販売が大幅に増加いたしました。また、一般設備投資も回復の兆しが見えてきており、搬送装置等の販売が堅調に推移いたしました。この結果、当部門の売上高は37億41百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

主な営業品目：
半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等



双腕ロボット

第2四半期連結財務諸表

■四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産		34,333	36,223
固定資産		6,920	6,460
有形固定資産		3,854	3,817
無形固定資産		61	53
投資その他の資産		3,004	2,589
資産合計		41,254	42,683
(負債の部)			
流動負債		27,189	28,041
固定負債		3,072	2,991
負債合計		30,261	31,032
(純資産の部)			
株主資本		10,677	11,655
その他の包括利益累計額		276	△45
少数株主持分		38	40
純資産合計		10,992	11,650
負債及び純資産合計		41,254	42,683

■四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

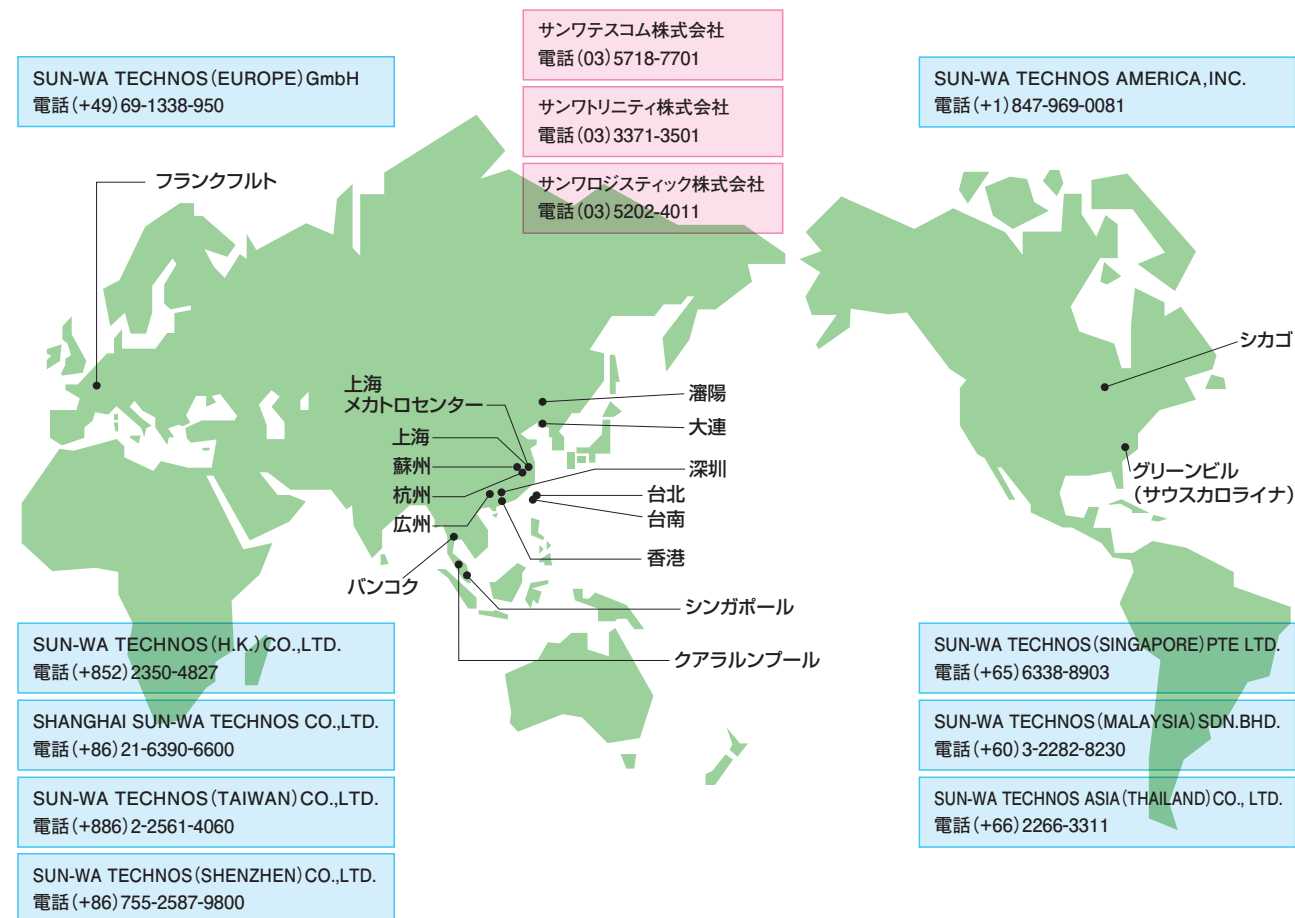
科目	期別	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		40,798	46,088
売上原価		35,546	40,014
売上総利益		5,252	6,073
販売費及び一般管理費		3,978	4,226
営業利益		1,273	1,846
営業外収益		234	173
営業外費用		232	229
経常利益		1,276	1,791
特別利益		0	-
特別損失		22	-
税金等調整前四半期純利益		1,254	1,791
法人税等		519	682
少数株主損益調整前四半期純利益		735	1,108
少数株主利益		1	2
四半期純利益		734	1,106

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,869	683
投資活動によるキャッシュ・フロー		△37	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,160	△341
現金及び現金同等物に係る換算差額		△48	28
現金及び現金同等物の増減額		623	310
現金及び現金同等物の期首残高		4,236	3,126
現金及び現金同等物の四半期末残高		4,859	3,437

連結子会社



会社の概要

(平成23年9月30日現在)

設立年月日 昭和24年11月4日
資本金 19億3,500万円
発行済株式の総数 12,888,000株
従業員数 442名(連結780名)
事業内容 メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事
 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売
 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売
営業品目 株式会社安川電機製品
 オムロン株式会社製品
 スタンレー電気株式会社製品
 オリジン電気株式会社製品
 三機工業株式会社製品
 日本ギア工業株式会社製品
 日機装株式会社製品
 株式会社ダイヘン製品
 ニチコン株式会社製品
 TDKラムダ株式会社製品
 安川シーメンス オートメーション・ドライブ株式会社製品
 株式会社ワイ・イー・データ製品
 住友スリーエム株式会社製品
 富士機械製造株式会社製品
 ケル株式会社製品
 ミネベア株式会社製品
 本多通信工業株式会社製品
 山一電機株式会社製品
 株式会社日本アレフ製品
 京セラ株式会社製品
 株式会社デンソーウェーブ製品
 安川ブルックスオートメーション株式会社製品
 他約100社の製品

役員

(平成23年9月30日現在)

取締役会長	山田益二郎
取締役社長	山本勢
常務取締役	岸本達三
常務取締役	田中裕之
常務取締役	田栗政俊
常務取締役	福田均
取締役	五十嵐正憲
取締役	牧野利彦
取締役	三根省一郎
取締役	花山一八
常勤監査役	青柳繁
※監査役	石川勲
※監査役	安國一
※監査役	小林純

※監査役 石川勲、安國一及び小林純の3氏は、社外監査役であります。

事業所の所在地



本社 東京都中央区八重洲二丁目8番7号 (福岡ビル) 〒104-0028 電話 (03) 5202-4011 (代表)
(電子部) 東京都大田区山王四丁目14番3号 (山田山王ビル) 〒143-8560 電話 (03) 3778-2811 (代表)
支店、営業所
東京西支店 八王子市横山町1番6号 (八王子第一東京海上日動ビルディング) 〒192-0081 電話 (042) 660-1461 (代表)
名古屋支店 名古屋市中村区名駅四丁目2番25号 (名古屋ビルディング東館) 〒450-0002 電話 (052) 563-4896 (代表)
京都支店 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町637番地 (第五長谷ビル) 〒600-8411 電話 (075) 371-1911 (代表)
大阪支店 大阪府中央区北浜一丁目8番16号 (大阪証券取引所ビル) 〒541-0041 電話 (06) 6202-3939 (代表)
福岡支店 福岡市中央区天神二丁目8番38号 (協和ビル) 〒810-0001 電話 (092) 761-2063 (代表)
東北営業所 仙台市青葉区本町一丁目13番22号 (仙台松村ビル) 〒980-0014 電話 (022) 264-2901 (代表)
北関東営業所 さいたま市大宮区宮町二丁目10番地 (尾熊ビル) 〒330-0802 電話 (048) 647-7900 (代表)
埼玉西営業所 入間市豊岡一丁目3番18号 (トリプレットビル) 〒358-0003 電話 (04) 2966-9811 (代表)
長野営業所 長野市南千歳二丁目12番地1 (長野セントラルビル) 〒380-0823 電話 (026) 267-7551 (代表)
沼津営業所 沼津市大手町三丁目8番25号 (清水銀行・大同生命ビル) 〒410-0801 電話 (055) 952-2171 (代表)
浜松営業所 浜松市中区板屋町110番5号 (浜松第一生命日通ビル) 〒430-0928 電話 (053) 459-3322 (代表)
三河営業所 刈谷市南桜町一丁目73番地 (OTAビル) 〒448-0841 電話 (0566) 28-7171 (代表)
三重営業所 四日市市瀬の森一丁目1番18号 (太陽生命四日市ビル) 〒510-0074 電話 (059) 350-8001 (代表)
北陸営業所 富山市桜橋通り1番18号 (住友生命富山ビル) 〒930-0004 電話 (076) 433-6410 (代表)
姫路営業所 姫路市豊沢町135番地 (姫路大同生命ビル) 〒670-0964 電話 (079) 283-2351 (代表)
広島営業所 広島市東区光町二丁目7番17号 (第二京谷ビル) 〒732-0052 電話 (082) 567-6441 (代表)
大分営業所 大分市中央町二丁目9番24号 (三井生命大分ビル) 〒870-0035 電話 (097) 536-7522 (代表)
熊本営業所 熊本市水前寺公園14番22号 (パークビル) 〒862-0956 電話 (096) 381-1860 (代表)
長崎営業所 長崎市万才町7番1号 (住友生命長崎ビル) 〒850-0033 電話 (095) 824-8141 (代表)
東京サービスセンター 東京都大田区平和島五丁目3番1号 〒143-0006 電話 (03) 3764-1911 (代表)
名古屋サービスセンター 愛知県愛知郡長久手町久保山1521番地 〒480-1151 電話 (0561) 61-2221 (代表)
九州サービスセンター 北九州市門司区新門司北一丁目2番11号 株式会社 安川ロジステック内 〒800-0113 電話 (093) 481-6111 (代表)

株式の状況

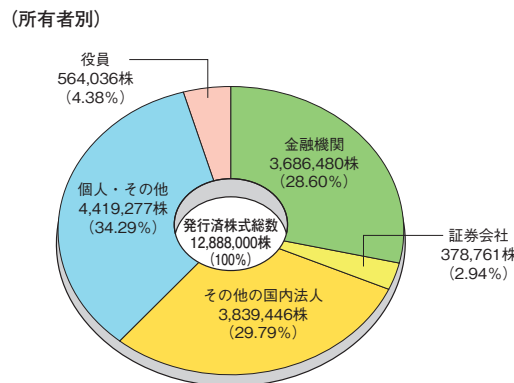
(平成23年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 33,380,000株
2. 発行済株式の総数 12,888,000株
3. 株主数 3,177名
4. 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社安川電機	797,280株	6.22%
第一生命保険株式会社	729,960株	5.69%
株式会社りそな銀行	545,160株	4.25%
株式会社三菱東京UFJ銀行	545,160株	4.25%
オリジン電気株式会社	498,000株	3.88%
オークマ株式会社	435,600株	3.40%
株式会社損害保険ジャパン	396,000株	3.09%
山田益二郎	386,600株	3.01%
竹田和平	380,000株	2.96%
オムロン株式会社	355,080株	2.77%

(注)「持株比率」は自己株式(79,964株)を控除して計算しております。

5. 株式の分布状況



海外子会社 事務所開設 (瀋陽分公司) のお知らせ

SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. (上海サンワテクノス) において、以下の通り中国瀋陽市に事務所を開設いたしました。

【名称】

珊華電子科技(上海)有限公司 瀋陽分公司
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. Shenyang Office
上海サンワテクノス 瀋陽事務所

【住所】

中国瀋陽市和平区中華路69-1号 富麗華国際商務中心1016室
Room 1016, Furama International Business Center, 69-1,
ZhongHua Road, Heping District, Shenyang, 110001, P.R.C

電話番号 : (+86) 24-3131-1822
FAX番号 : (+86) 24-3131-1833

【開設日】

2011年8月1日(月)



IR放送のご案内

当社は、IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組の中で山本社長によるIRコーナーを放送中です。今回より、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行います。

- 放送内容 個人投資家様向けに当社の事業概要、経営環境、決算の内容、業績の見通し、今後の事業展開等について説明。
- 放送番組 ラジオNIKKEI番組『夕焼けマーケット』(16:00~16:45)
- 放送コーナー 『サンワテクノスIR特集』 16:15頃スタート
- 放送スケジュール 第1回:2011年8月24日(水)終了、第2回:2011年11月16日(水)終了
第3回:2012年1月18日(水)、第4回:2012年2月15日(水)
- 放送媒体 (音声・動画)
【生放送】
ラジオNIKKEI 第一(3.925MHz、6.055MHz、9.595MHz)
インターネットライブストリーミング:<http://market.radionikkei.jp/8137ir/>
radiko.jp (IPサイマルラジオ):<http://radiko.jp/>
ケータイライブ(ドコモ公式サイト「ラジオNIKKEIモバイル」):<http://mobile.radionikkei.jp/>
【過去放送分を配信】
インターネットオンデマンド/ポッドキャスト:<http://market.radionikkei.jp/8137ir/>
【動画視聴(ライブ、オンデマンド)】
<http://market.radionikkei.jp/8137ir/>

■出演者

当社取締役社長 山本 勢
聞き手:鎌田 伸一氏(ラジオNIKKEI記者)
叶内 文子氏(フリーアナウンサー)



【聞き手】鎌田伸一氏
(ラジオNIKKEI記者)

個人投資家様向け会社説明会を開催

2011年9月8日(木)にウインクあいち(名古屋)で開催された日本証券業協会主催によるIRセミナーにおいて、「新第7次中期経営計画(STEP1000)について~サンワテクノスグループ~」と題し、会社説明会を実施いたしました。

当日は約400名の個人投資家の皆様が出席され、山本社長より新第7次中期経営計画(STEP1000)の重点施策を中心に、会社概要、当社の特徴と強みなどを説明いたしました。

サンワテクノスでは、このようなセミナーはもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上および安定的な個人株主の増加を図ってまいります。

なお、今回のIRセミナーで使用された資料につきましては、当社ホームページ(<http://www.sunwa.co.jp/>)にてご覧頂けます。

次回の個人投資家様向け会社説明会の開催予定は以下の通りです。

日時:2012年2月23日(木)13時30分~15時30分(13時開場)

場所:東京証券会館ホール
(東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館8F)
東京メトロ 東西線・日比谷線 茅場町駅 8番出口直結

詳細は2012年1月下旬頃に主催者(日本証券業協会)のホームページ(http://www.jsda.or.jp/manabu/seminar_info/irseminar/information.html)にて告知いたします。

お問い合わせ先 TEL 03-3667-8020(日本証券業協会)

